

編集・発行
青森市教育委員会事務局文化財課
TEL : 017-761-4796
http://www.city.aomori.aomori.jp
E-mail : bunkazai@city.aomori.aomori.jp

小牧野遺跡の世界遺産登録に向けた取り組みについて

世界遺産登録の実現にあたっては、多くの条件をクリアする必要があり、これには地域の方々のご理解とご協力をはじめ、行政や民間団体などの総合力が不可欠です。

青森市教育委員会では、小牧野遺跡の世界遺産登録に向けて、平成23年度は次のような取り組みを行いました。これからも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



平成23年度に作成した子供向けパンフレット

4月

青森市高田教育福祉センターにおいて、「小牧野遺跡世界遺産登録説明会」を開催。悪天候の中、高田地区にお住まいの方を中心に、県外から駆けつけた方も含め、多くの参加がありました。



小牧野遺跡世界遺産登録説明会 (4月16日)

5月

小牧野遺跡で初めて野生の猿が確認され、5月から6月にかけて5回、遺跡内のクリなどを食べに来ていました(親ザル2匹、小ザル4匹)。

6月

また、地元の小学校やガールスカウト、中国からの留学生によって、どんぐりの苗木の移植作業が行われました。



食事中的ザル (6月8日)

7月

夏休みの小学生を対象にした「世界遺産と小牧野遺跡を学ぼうツアー」を開催。縄文遺跡や世界遺産について学んでもらいました。

8月

また、この頃、竪穴住居跡や墓に関する整備とともに多目的広場の盛土工事等を実施しました。



世界遺産と小牧野遺跡を学ぼうツアー (7月29日)

9月

世界遺産登録に向けて、国内外の専門家による現地視察が行われ、「美しい自然や景観が素晴らしい」といった意見をいただきました。また、一般市民を対象にした、「世界遺産と小牧野遺跡を学ぶツアー」も開催しました。



専門家による視察 (9月23日)

10月

市民参加による遺跡整備の一環として現地の芝張り体験を行うとともに、地元の小学校やボランティア等によって、どんぐりの苗木の植樹が行われました。

11月



芝張り体験 (10月18日)

3月

世界遺産登録では、保存管理計画の策定が条件の一つとなっています。そのため、本市では平成22年度より関係機関との協議や、住民説明会等での意見を踏まえた上で、本遺跡の保存管理や経過観察の実施方法、世界遺産登録区域の設定に関する事項をまとめた『史跡小牧野遺跡保存管理計画』を3月に策定しました。



「どんぐりの森を作ろう」植樹祭 (10月30日)

平成23年度に発掘調査した遺跡の概要

大矢沢野田遺跡 青森市大字大矢沢字里見, 字野田



調査区全景

青森市教育委員会では、市道筒井幸畑団地線道路改良工事に伴う大矢沢野田遺跡の発掘調査を平成11～23年度のうち5回にわたり実施しました。これまでの調査では、縄文前期初頭の竪穴住居跡や前期中葉の土器・石器の捨て場などが見つかっています。

今年度の調査では、縄文中期をはじめとする土坑11基、ピット8基を検出したほか、土器や石器などが出土しました。検出した遺構の分布状況などから、集落の本体は今回の調査区付近にあると考えられます。

石江遺跡群 青森市大字新城字平岡ほか



調査で確認された土の堆積状況（新城平岡(7)遺跡地内）

今年度の石江遺跡群の発掘調査は、上下水道管の撤去や新たな設置等に伴い、地下の埋蔵文化財が破壊されないかどうかを確認するため、新城平岡(2)遺跡と新城平岡(7)遺跡を対象に実施しました。

調査の結果、縄文土器や平安時代の土師器が出土する土層を確認し、過去の調査で見つかっている沢地形に続くことがわかりました。このように今回の調査によって、地下の遺跡に影響を及ぼすことなく、現在の生活に必要な上下水道工事などを行うことができました。

ストリート・ミニ・ミュージアム開催

青森市教育委員会では、より多くの方々に地域の文化財などに親しんでもらえるよう、平成22年度より市内各所の施設で展示する「ストリート・ミニ・ミュージアム」を開催しています。

平成23年度には、青森の伝統工芸品である「刺しこ」に関する資料や本市出身の写真家小島一郎氏（故人）による写真パネルの展示等を開催しました。

【刺しこ展】平成23年11月1日～11月30日：Festival City AUGA

江戸時代から昭和初期にかけて、農家の人々は麻で作った衣服の破れた部分などに、麻布を重ね縫いして補強することで長く着用できるように工夫しました。この縫い作業の中で独特な意匠の模様を刺し綴った衣服が「刺しこ着」です（写真参照）。

展示会では「こぎん刺し」、「つづれ刺し」、「菱刺し」など数種類の手法によって刺し綴られた着物を展示しました。

【小島一郎写真展】平成23年10月7日～14日：ねぶたの家ワ・ラッセ

本市出身の写真家小島一郎氏によって撮影された青森県内の冬の風景の写真パネルを展示しました。各写真を見ると、北国の厳しい自然やその中で生きる雪国の人のたくましさ伝わってきます。



こぎん着物（津軽地方）



菱刺し前だれ（南部地方）



菱刺したっつけ（南部地方）